

地域の会



▲県外視察「原子力安全・保安院（緊急時対応センター）」



◀第64回定例会（西山町いきいき館）

CONTENTS

第63回定例会

保安院、東京電力から
耐震関係等の説明を受け質疑応答 ……………2

第64回定例会

県外視察について感想等意見交換 ……………3

発電所を巡る主な動き

地域の会に寄せられた声「みんなの広場」……………4

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会（「地域の会」）

柏崎刈羽地域では、現に存在する原子力発電所と対峙して生活せざるを得ません。それが事故無く稼動することは、個々の考え・主張の如何によらず、住民の最低かつ共通の思いです。

「地域の会」では、発電所そのものの賛否はひとまず置いて、安全運転に係る事業者や行政当局の必要にして十分な情報提供に基づき、発電所の安全について状況を確認し、地域住民の素朴な視線による監視活動を行うとともに、必要な提言を行うことを目的に、平成15年5月に発足、設置趣旨に沿った様々な活動を行っています。

地域の会 概要

- ①会員は、柏崎市、刈羽村に在住し、会が認める各種団体および地域の推薦を受けた24名の委員で構成。任期は2年。
- ②会の任務：(1)原子力発電所の運転状況及び影響等の確認・監視
(2)事業者等への提言
(3)会での議論、活動等の住民への情報提供
(4)委員の研修
(5)その他会の目的を達成するために必要と認められる事項
- ③県、市、村、国、事業者はオブザーバー、又は説明者として出席
- ④会議の種類：定例会（毎月1回）
臨時会（必要に応じ開催）
※会は、原則すべて公開。

第63回定例会

保安院、東京電力から耐震関係等の説明を受け質疑応答

第63回定例会の概要

開催日	平成20年9月3日(水)
場所	柏崎原子力広報センター(研修室)
出席者	18名(欠席6名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 原子力安全・保安院 保安検査官事務所 地域担当官事務所 東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●質疑応答 ●その他



前回定例会(8月6日)以降の動きについて、保安院からは、FIB断層北方周辺における海上音波探査、耐震裕度に関する試験・調査等の説明を、新潟県からは、温排水等漁業調査結果等の説明を、東京電力からは、中越沖地震関連の点検・復旧作業状況、地震直後に排気筒からの放射性気体物質の放出等についての説明を受け、質疑応答を行った。

【質疑応答】

Q 柏崎刈羽原子力発電所沖合での温排水等漁業調査で、水温上昇域は南放水口から最大14・8kmの範囲とあるが、根拠は何か。

東京電力 柏崎港から、海岸線方向20km、沖合8kmの海域を調査する。表面で1℃以上高い範囲を温排水の影響域としている。調査では北向きの海流の影響により、椎谷方向に温排水が拡散する傾向があり、その先端までの距離が

14・8kmということとなっている。

Q 中越沖地震で放射性ヨウ素が排気筒から漏れたが、いつ、どのような形で確認されたのか。

東京電力 地震発生の日、排気ファクトリーを交換した時に測定し、確認した。

Q 放射性物質が排気筒から放出された原因の一つは、タービンランド蒸気排風機を止め忘れたということだが、どういったことなのか。

東京電力 放射性物質の放出原因を調べていて、止め忘れに気付いた。防止策として、手順書の記載を分かり易いように書き換えると共にタイマーにより自動的に止まるよう対策を進めている。

Q 排気筒から放射性ヨウ素が漏れたのに、「止める」「冷やす」「閉じ込める」という安全機能は維持できたことになるのか。

東京電力 「閉じ込める」の意味は、燃料棒の中に有る放射性物質を、事故時に五重の壁で遮り、大きな放出事

故につながらないということである。

Q 柏崎刈羽原子力発電所は、新潟県から静岡県まで縦断するフォッサマグナの上にあるということ、柏崎刈羽は堆積層が厚く軟弱な地盤の地域であるということ、また、褶曲構造の活発な地域であるということ、等々から原子力発電所の立地にはふさわしくないのではないのか。

保安院 フォッサマグナとは糸魚川から静岡と柏崎から千葉の構造線の間のことを言い、非常に広い大地溝帯であることから、柏崎刈羽地域だけが特に問題になるとは考えていない。堆積層が厚いということが中越沖地震の地震動が大きかった要因のひとつであった。今後の耐震バックチェックの中で、さまざまな知見を踏まえ、新しい基準地震動の策定をするよう指示している。また、褶曲構造の活発な地域というのは安全審査の段階で承知していた。しかし、西山丘陵のある柏崎刈羽は、活構造はなかったということで安全審査を行ってきた。

Q 中越沖地震による地盤等の変化の関係で、国は事業者である東京電力の報告データを審査しているにすぎないのではないのか。東京電力の調査報告書は不正確かつ不十分な記載が見受けられる。国は、現場の事実を正確に把握した上で、客観的な判断をするべきではないのか。

保安院 7号機設置許可までは活動性がないとしてきたが、中越沖地震後は敷地周辺の断層についても再調査を行っている。真殿坂断層の活動性等、地元の方からのご指摘については、国の委員会においても委員の方々にお諮りし、その結果について国として判断していく。

トピックス

新潟県技術委員会の二つの小委員会委員長との意見交換会を実施

日時 平成20年9月3日
午後2時～5時
場所 柏崎原子力広報センター
出席者 ・北村委員長(設備・耐震)
・山崎委員長(地震・地質)
・地域の会委員 15名

【主な地域の会委員意見・要望】

- ・安全に停止し、事故に繋がらなかったことから、基本的に大丈夫と思っているが、国だけでなく県もチェックすると更に安心だ。
- ・「安全だ」「安全だ」と言われるほどかえって不安になる。
- ・国や県は東京電力のデータのみで審査せず、第三者機関が客観的に調べたデータで審査すべきと思う。
- ・大きな地震は予知できると聞いているが、予知の研究も進めてもらいたい。
- ・安全を確保し、早く動かしてほしい。
- ・柏崎刈羽地域は地盤が軟弱で、地震に対する安全確保が心配である。
- ・小委員会の議論は専門的であり、一般住民には難しい。出来る限り分かりやすく伝えてほしい。
- ・地元柏崎に、議論する機関を国で設置してほしい。
- ・原子力発電所は必要と考えているが、安全ありきでの説明はその考えが崩れてくる。



第64回定例会

県外視察について感想等意見交換

第64回定例会の概要

開催日	平成20年10月1日(水)
場所	西山町いきいき館(いきいきホール)
出席者	15名(欠席9名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 原子力安全・保安院 保安検査官事務所 地域担当官事務所 東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●県外視察報告及び意見交換 ●その他

中越沖地震の発生により、東京電力の電力供給対応、原子力防災、原子力安全規制当局の対応等について状況確認を目的に県外視察を実施し、各委員の感想、意見等を発表。

視察実施日 平成20年9月28日～29日

【視察先と

各委員の主な感想、意見等】

◆東京電力千葉火力発電所

液化天然ガスを燃料とし、高効率と環境に配慮した最新の火力発電所。



柏崎刈羽原子力発電所から首都圏への電力供給がストップしたことによる、首都圏の電力不足の対応、発電所の火災発生時の対応等について状況確認

●ばい煙や異臭等は感じなかったが、化石燃料を使用する火力発電所は、やはり地球環境に悪影響を与えることになると思った。

●柏崎刈羽原子力発電所の2基分の電力を8基もの発電機で発電していた。燃料備蓄も2日分とのことから原子力発電の方が効率的であると感じた。

●熱効率49%を実現した高効率の火力発電所であり、公害も無かった。また、敷地内には市民に解放した公園もあり、地域に寄与している発電所であった。

◆放射線医学総合研究所



放射線と人体の関係を医学的見地から研究する施設で、緊急被ばく医療の拠点施設であり、原子力災害による被ばく者に対する医療体制や治療技術を視察

●被ばく患者に対して、対症療法しかなく、やはり原発事故が起こらない体制作りが大切と感じた。

●柏崎市の消防署職員の研修・受講者が多いと聞き安心した。

●重粒子線がん医療では世界をリードしているとのことだが、柏崎刈羽地域にも、高度医療を提供できる施設の誘致を積極的に進めてほしい。

●緊急被ばく医療センターの除染施設が意外に簡単なもの、また、研修医も含め医師が5人体制だったことに驚きと不安を感じた。

●被ばく医療従事者の育成に積極的であり、また、若いスタッフが「やりがいがある」と言っていたことに好感を持ち、安心が持てた。

●ヨウ素剤や被ばく時の治療薬等についての話が聞けて良かった。

◆内閣府 原子力安全委員会

経済産業省 原子力安全・保安院と共に、国の原子力安全規制のダブルチェック機関であり、委員会の審議を検証

●委員長が、地域の会の役割を高く評価していたことは印象深かった。

●審議の内容が聞き取れず残念だった。

●安全委員会として、前向きな姿勢は見えるが、原発立地地域との距離感があると感じた。

◆原子力安全・保安院

霞ヶ関の原子力安全・保安院にある緊急時対応センターは、全国のオフサイトセンターの中枢であり、そのシステムや危機管理体制の検証と意見交換

●緊急時対応センターに逐次入る情報の管理体制には感心した。

●意見交換会には、院長をはじめ多くの幹部職員が出席し、熱心に聴く姿勢

には、原発立地地域住民を重要視しようとする熱意を感じた。



【前回定例会以降の動きについての質疑応答】

Q 6、7号機のタービン動翼付根の損傷について、その原因と対応を教えてください。

保安院 原因はタービン内部の蒸気の流れの乱れによる金属疲労。事業者に、詳細な定期点検を行うこと、中長期的には動翼の設計変更を指示した。

東京電力 ひびの除去等の対策を施した上でそのまま使用し、こまめに点検していく。10年以内を目標に設計改良する。

Q 9月3日開催した、地域の会と県技術委員会の2つの小委員会委員長との意見交換会の概要が公表されたが、地域の会委員全員の意見が載っていない。全員の意見を載せるべきではないか。

新潟県 概要ということで小委員会では報告したもの。追って議事録において全員の意見を公開する予定である。

Q 県の技術委員会小委員会は委員の出席が少ないのではないか。少人数での審議結果では不信任感を持つ。

新潟県 できるだけ全委員が出席できるように日程調整を行きたい。

柏崎刈羽原子力発電所を視察

中越沖地震による、耐震補強工事状況や敷地内断層調査状況を確認。

日時 平成20年10月13日・14日

視察内容

・7号機格納容器内配管補強工事及び原子炉建屋屋根トラス強化工事の状況確認と敷地内断層調査立坑を視察。
※詳細内容は次回号に掲載。



※新潟県 技術委員会(小委員会)傍聴については、紙面の都合により割愛しました。傍聴状況についてはホームページをご覧ください。

発電所を巡る主な動き(8月7日～9月30日)

8月7日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	8月8日	県、柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく月例状況確認	9月31日	保安院 FIB断層北方延長における追加調査を実施	9月12日	保安院 柏崎刈羽原子力発電所への現地調査を実施	11月12日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(構造WG)開催	19日	福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の「原子力事業者防災業務計画」の修正ならびに提出について公表	20日	県、柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく状況確認	21日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	22日	新潟県 技術委員会(設備健全性、耐震安全性に関する小委員会)開催	25日	保安院 原子炉等規制法に基づき原子炉設置者提出の保安規定変更認可申請に対し認可	26日	保安院 6・7号機蒸気タービンに係る意見聴取会開催	27日	新潟県 技術委員会(地震、地質、地盤に関する小委員会)開催	28日	新潟県 原子力発電所周辺環境監視評価会議開催	9月1日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	2日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(構造WG)開催	4日	保安院 原子力発電所等の耐震安全性に反映すべき事項を原子力安全委員会に報告及び原子力事業者へ通知	9日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	10日	新潟県 技術委員会(地震、地質、地盤に関する小委員会)開催	11日	県、柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく月例状況確認	12日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(地震、津波、地質、地盤合同WG)開催	30日	新潟県 技術委員会(地震、地質、地盤に関する小委員会)開催	29日	保安院 6・7号機蒸気タービン動翼フオーク部損傷に関し追加対策等の実施を要求	27日	保安院 柏崎刈羽原子力発電所に関する調査・検討状況の住民説明会開催	26日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(構造WG)開催	25日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(設備健全性評価サブWG)開催	24日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(地震、津波、地質、地盤合同WG)開催	19日	保安院 東京電力より、柏崎刈羽原子力発電所の基準地震動の見直しに係る報告書(機器レベルの点検・評価報告の提出について)公表	18日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	17日	新潟県 技術委員会(地震、地質、地盤に関する小委員会)開催	17日	県、柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく状況確認	16日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	15日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	14日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	13日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	12日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	11日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	10日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	9日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	8日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	7日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	6日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	5日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	4日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	3日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	2日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表	1日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適合について公表
------	----------------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	-------------------------	--------	--	-----	--	-----	------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	---	-----	---------------------------	-----	-------------------------------	-----	------------------------	------	----------------------------------	----	--	----	--	----	----------------------------------	-----	-------------------------------	-----	--------------------------	-----	---	-----	-------------------------------	-----	--	-----	-----------------------------------	-----	--	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----------------------------------	-----	-------------------------------	-----	------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	-----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------

※号機のための記載は柏崎刈羽原子力発電所分
色は東京電力の動き 色は行政の動き

地域の会に寄せられた声 みんなの広場

東京電力に望むこと

刈羽村 棚岡 靖士さん

原子力安全・保安院は「柏崎刈羽原子力発電所7号機において、燃料装荷に必要な安全が確保されている事を確認した」との広報を目にし、改めて耐震工事の進行状況を知る。

先の洞爺湖サミットで協議された地球温暖化における環境問題、そして日本のエネルギー政策において、原子力発電は日本の経済・産業発展、生活安定において現況として必要なものと考えます。

原子力発電所の安全・安心についてですが、不幸にして中越沖地震は莫大な費用を投じての補修工事、耐震安全、設備機器、建物設備等の総点検と相成っており様子。安全性全般において、より一層深められておるものと考えております。

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関しましては、まだまだ時間と費用がかかることではしょうが、日本の最高技術力を投じていただき、東京電力様と電源立地の地域住民との新たな信頼関係を構築されますことを望みます。

プルサーマル導入の前段工事が含まれているのではないかと、思いがよがり、不正やデータ改ざん等は二度と起こさない。地域住民へのみじめな謝罪は起こさないで下さい。

「透明性を確保する地域の会」の活動をご支援申し上げます。



廃炉にしないで大丈夫?

刈羽村 近藤 ゆき子さん



昨年の中越沖地震で私達は多くのものを失いました。原発は放射能を撒き散らしました。その影響は絶対あると確信しています。

もうすぐ1年4ヶ月。槌音高く復興が進められ、新しい家、修理された家があちこちに見られます。私達はここにも多くのお金を失いました。

この中、原発は再開に向け猛進しています。でも、チョット待って!ひとたび事が起これば全てを捨てて、この地を出て行かなければならないかもしれない!それでもいいの?ローンは残るんですよ!最悪のシナリオは想定できるんじゃないでしょうか?東電も国もどういう責任をとるつもりなのでしょう?安易な再開は絶対に容認できません!!廃炉が少し早まったと思い、諦めて、未来の子供達に安全・安心を手渡したいと思います。

蛇足ですが、スリーマイルやチェルノブイリの事故の時、金属製の味がしたとか、体がチクチクしたとか、青い空気、オレンジ色の霞、虹色に光る雲が見られたそうです。乳搾りをしていた人は母屋に帰るまで、3回も倒れ、倒れる瞬間は記憶がなく、その後甲状腺が腫れ、心臓付近にガンが出来たそうです。詳しくは「放射能の流れた町」をご参照ください。

「視点」では皆様のご意見をお待ちしています。
宛先は下欄住所まで、またメールでも受付けております。

■ 今後の「地域の会」定例会の開催案内 ■

第67回定例会 (公開勉強会)

日時: 平成21年1月14日 (水) 午後6:00～
場所: 柏崎市産業文化会館大ホール (3F)

第68回定例会 (情報共有会議)

日時: 平成21年2月4日 (水) 午後6:00～
場所: 柏崎市産業文化会館大ホール (3F)

※開催日時や場所は変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせ願います。

会は公開で行われています。
お気軽にお越し下さい。

地域の会ではホームページで活動の全てを公開しています。

ホームページでは活動状況をタイムリーにお知らせすると共に、会議録、会議資料の全文を公開しており、資料をダウンロードすることもできます。

また、ホームページおよび地域の会に対するご意見・お問合わせについて、ホームページ上からも受け付けています。

<http://www.tiikinokai.jp>

季節が巡り収穫の秋が終わり寒い時期を迎えた。自分にとっては何年目のことではないが永久に続く繰り返しのことであると、地域の市史や町史・村史を再読して改めて知った。

今秋、世界を未曾有の経済危機が襲い株価は暴落。影響は今後一層深刻になると報ぜられている。中越沖地震から一年半が経過し復興途上にある。原発との共存を選択して40年余りが経過した地域が、地震を契機に改めてその是非が問われている。

人の一生は長くて100年、人生に40年は長い、地域の歴史にとつては一瞬でしかない。「この自然は未来の子供たちからの預かりもの」の諺がある。地域のあり方の議論を後世の人たちがどう判断するのだろうか。

(運営委員 武本)

編集後記